

nagai

# ながい 市議会だより

(2013)  
平成25年8月  
第102号

昭和62年の「長井おどりパレード」は、  
今年のように雨降りの中で行われました



今年のように

昭和37年のあやめ公園に張られた  
「シバタ大サーカス」のテント



今年のように

## とき 忘れえぬ時代 そして 今日

今年もあやめの花は見事に咲いてくれました。  
新長井おどりの何とかが踊ることができました。

…私達の記憶の断片を貼り合わせてみると、映像のほかにも、  
「匂い」や「吹き渡る風」や「人々の声」までも甦ることがあります。

たまには、二度と戻れない長井を覗いてみましょう。

## おもな内容

|                   | ページ |
|-------------------|-----|
| ◆新体制決まる……………      | 2   |
| ◆6月定例会の焦点……………    | 3   |
| ◆一般質問……………        | 5   |
| ◆予算特別委員会総括質疑…………… | 10  |
| ◆行政視察報告、請願……………   | 12  |

# 新体制 決まる

5月16日、臨時会が開かれ、議案5件を可決し、その後、正副議長選挙が行われました。また、常任委員会委員の所属の一部変更、議会運営委員会委員の欠員により、新委員の選任が行われました。一部事務組合議会議員の構成についても一部変更がありました。



ごあいさつ

議長 小関 勝助  
副議長 大道寺 信

このたび、5月臨時会において、議長・副議長に選出され就任いたしました。任期中精一杯努力してまいりますのでよろしくお願いします。

本市は、人口減少、少子高齢化、雇用不安の中にあり、将来に向けて持続可能なまちづくり、健全な財政運営が求められています。また、議会は市民の声を大切にしながら議論を深め、誤りのない市政運営となるようチェックする役割があります。

地域主権改革が進む中、さらなる議会の活性化に向けて、議会基本条例の制定や開かれた議会、信頼される議会を議員全員で目指します。また、「市民との意見交換会」の充実を図ってまいります。今後とも市民の皆さまのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

## 常任委員会及び議会運営委員会

| 委員会   | 委員長   | 副委員長  | 委 員   |       |       |       |       |       |  |  |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--|--|
| 総 務   | 我妻 昇  | 竹田 博一 | 小関 秀一 | 蒲生 光男 | 安部 隆  | 渋谷 佐輔 | 大沼 久  | 小関 勝助 |  |  |
| 文 教   | 高橋 孝夫 | 江口 忠博 | 赤間 泰広 | 梅津 善之 | 今泉 春江 | 大道寺 信 | 町田 義昭 | 佐々木謙二 |  |  |
| 厚 生   | 安部 隆  | 小関 秀一 | 今泉 春江 | 大道寺 信 | 蒲生 光男 | 佐々木謙二 | 渋谷 佐輔 | 大沼 久  |  |  |
| 産業・建設 | 町田 義昭 | 赤間 泰広 | 梅津 善之 | 江口 忠博 | 竹田 博一 | 我妻 昇  | 高橋 孝夫 | 小関 勝助 |  |  |
| 議会運営  | 渋谷 佐輔 | 高橋 孝夫 | 小関 秀一 | 竹田 博一 | 我妻 昇  | 大道寺 信 |       |       |  |  |

## 一部事務組合議会議員

| 事務組合議会名      | 議 員   |       |       |       |
|--------------|-------|-------|-------|-------|
| 置賜広域行政事務組合議会 | 蒲生 光男 | 高橋 孝夫 | 小関 勝助 |       |
| 西置賜行政組合議会    | 今泉 春江 | 竹田 博一 | 我妻 昇  | 渋谷 佐輔 |
| 置賜広域病院組合議会   | 佐々木謙二 | 安部 隆  | 小関 勝助 |       |

## ながい市議会だより編集特別委員会

(平成25年6月26日一部変更)

| 委員長   | 副委員長 | 委 員   |       |       |       |
|-------|------|-------|-------|-------|-------|
| 小関 秀一 | 我妻 昇 | 赤間 泰広 | 梅津 善之 | 江口 忠博 | 今泉 春江 |

## 広域連合議会議員

| 広域連合議会名          | 議 員   |
|------------------|-------|
| 山形県後期高齢者医療広域連合議会 | 蒲生 光男 |





## 6月定例会の焦点

6月定例会は、6月6日から26日までの21日間の日程で開催され、報告4件、一般議案3件、平成25年度補正予算1件、請願1件について審議を行いました。

そのうち「平成25年度一般会計補正予算第2号」については、予算特別委員会において、都市再生整備事業（あら町石畳舗装など）に係る予算を減額する修正案が提出されましたが否決し、原案どおり可決しました。

また、追加提案された議案2件（特別職及び一般職の給与等を減額する条例案）を含むその他の議案は全て原案どおり可決しました。

### 宅地開発事業用地の取得について可決

人口3万人復活事業の一環として、定住促進に資する住宅地の供給を行う「長井市宅地開発事業」のための用地を取得するため提案されました。

**産業・建設常任委員会**において、「行政で宅地開発を展開して、3年以内に完売できる自信があるのか」との質疑に、「山形県宅地建物取引業協会に販売促進の協議を行っている。協会からは、この場所、この価格であれば全て完売できるだろうとアドバイス

を受けている。今のところ3年以内に完売できる自信を持っている」との答弁を受けた。

また、「地元の建築業者は、仕事がなく困っている。市内業者への優遇策についての考えはあるのか」との質疑に、「新築については、市内業者が建設した場合に最大限度額40万円の補助金交付制度を設けている。市内業者が受注できるように施策をさらに検討したい」との答弁を受けた。

**討論**では、「この事業を展開する主体が行政ということ

ろは、問題あると思うが、市民から土地を安価に提供、協力していただけること、また、28年度までに全部完売するという答弁を聞いて、市民から用地を取得する今回の議案については賛成である」との意見や、「水路や道路は行政で整備したとしても宅地開発は民間ですべきであるというのが基本的な考えであり、民業の圧迫も含めさまざまな観点から反対せざるを得ない」との意見も出されました。

### 本会議における討論では、

「山形県住宅供給公社による事業展開が叶わず、宅地開発の経験が乏しい長井市が事業主体となることで、設計から完売まで多額の経費の持ち出しが危惧される。民間による宅地開発の場合、人件費などは販売単価に転嫁されるため安価な設定ができず、行政による事業展開は民業圧迫の心配がある。地方都市の景気低迷や平成26年からの消費税増税など、宅地開発の展開に大きな不安がある。市有地の不稼働解消が先決である。安価

な販売目的による用地買収価格が市全体の固定資産評価に大きく影響する。空地・空家などへの行政対応が逼迫している。以上の理由から反対」との意見が出されました。

**採決の結果**、賛成多数で可決しました。



宅地開発事業予定地（台町・花作町地内）

### 平成25年度一般会計補正予算を可決

本定例会に提案された一般会計補正予算の主なものは、介護基盤緊急整備事業費4320万円、都市再生整備関連の社会資本整備総合交付金事業費3402万円、地域の元氣臨時交付金事業費2677万円などで、1億6844万円を追加計上するものです。

**予算特別委員会**において、都市再生整備関連の堀切桐町線（あら町通り）の石畳舗装や側溝整備などの環境整備工事費2889万円を減額する修正案が提出されました。

### 修正の理由として、「昨年

12月定例会での説明は、道路の白線内（車道部分）を石畳として整備するというものであった。しかし、今回の提案は、両側の路側帯（歩道部分）を石畳とするものであり、残りの車道部分を脱色舗装とし、側溝整備も行うというものがある。このように当初の説明から大きく乖離したことの原因に、概要のみの説明で予算を通したことにある。このことは議決した側も大いに反省しなければならぬ。1月臨時会でも指摘されたとおり、まずは当初議決した範囲において工事を進めていくべきであり、その検証の結果に基づき延長部分を整備すべきである」との説明がありました。

**討論**では、「堀切桐町線環境整備事業は、議会の意見に真摯に耳を傾け十分配慮した

内容に見直されていることが汲み取れる。加えて市民や関係者の意向も反映し、民意に配慮されていることも伺える。また、本事業が実施できない事態になると、市民が長年待望し、一緒に計画されている道路整備5路線、消雪工事4路線と道路改良、水路整備2箇所などが絶望的になる。行政や議会の役割、使命、仕事は、市民の生活・福祉の向上に努め願うことだと思う。本事業を実施し、市民の民意に応えることが大事だと思うので**修正案に反対**との意見や、「再度提案のこの予算は、前回とは違い、石畳工事とともに、あら町の住民の強い要望である側溝整備が一緒に実施されるものであり、地域住民の生活環境が改善されるものである。さらに旧羽前銀行も現在改修中であるため、整備の延長が必要である。よって、この**修正案には反対**であり、原案のとおり進めるべきである。あら町のほか、何箇所かの石畳計画があるが、市内の観光資源や歴史的景観

地域など、今後十分な検討が必要である」との意見が出されました。

**採決の結果**、修正案は賛成少数で否決し、原案を賛成多数で可決しました。

**一般職の給与の特例に関する条例、特別職の給与等の特例に関する条例を可決**

国家公務員の給与減額措置を踏まえ、平成25年7月1日から平成26年3月31日まで、一般職及び特別職（議員含む）の給与等を減額して支給するため提案されました。

**本会議における討論**では、「地方公務員給与は、自治体が自主的に決定すべきもののに、国が削減を強制するのは地方自治の根幹を侵すものである。給与を削減するため地方交付税を減らし、国の政策誘導の手段に用いるのは、地方の固有財源である交付税の性格を否定するものであり、憲法が定める地方自治権を侵すものである。また、給与の引き下げは職員の生活を圧迫

する。職員の意見をよく聞かず、削減を一方的に決めるのは、民主主義にも反する。さらにこの給与削減は民間企業の賃金低下にも連動し、地域経済全体にマイナスの影響を与えるため**反対**である」との意見や、「国家公務員の給与減額に準じて地方公務員にも同様の措置を求める政府の考え方には問題点がある。①地方交付税は財源の均衡化を図るための制度であり、国は地方交付税の使い道を自治体に強制できず、地方自治の本旨に反していること、②地方公務員給与は労使間での交渉で決着するものであり、自治体の労使自治への不当介入であること、③地方自治体は国をはるかに上回る賃金削減や人件費抑制をすでに行っていること、④交付税や公務員賃金削減は疲弊した地域経済にさらにマイナスの影響を与えること、以上の点から、**反対**である」との意見も出されました。

**採決の結果**、賛成多数で両議案とも可決しました。

**平成25年6月定例会 議案等に対する賛否一覧表** (下記以外については全会一致で可決されています)

| 議席番号<br>議員氏名<br>議案等名               | 議決結果 | 賛成 | 反対 | 1     | 2     | 3     | 4     | 5     | 6     | 7    | 8     | 9     | 10    | 11     | 12   | 13    | 14    | 15   | 16    |
|------------------------------------|------|----|----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|-------|-------|-------|--------|------|-------|-------|------|-------|
|                                    |      |    |    | 赤間 泰広 | 梅津 善之 | 江口 忠博 | 今泉 春江 | 小関 秀一 | 竹田 博一 | 我妻 昇 | 大道寺 信 | 蒲生 光男 | 町田 義昭 | 佐々木 謙二 | 安部 隆 | 渋谷 佐輔 | 高橋 孝夫 | 大沼 久 | 小関 勝助 |
| 議案第51号 宅地開発事業用地の取得について             | 原案可決 | 8  | 7  | ○     | ●     | ○     | ●     | ●     | ○     | ○    | ●     | ●     | ○     | ○      | ●    | ○     | ○     | ●    |       |
| 議案第54号 25年度一般会計補正予算第2号             | 原案可決 | 9  | 6  | ○     | ●     | ○     | ○     | ●     | ○     | ●    | ●     | ●     | ○     | ○      | ●    | ○     | ○     | ○    |       |
| 議案第55号 長井市一般職の職員の給与の特例に関する条例の設定    | 原案可決 | 8  | 7  | ○     | ○     | ●     | ●     | ●     | ○     | ○    | ●     | ●     | ○     | ○      | ●    | ○     | ●     | ○    |       |
| 議案第56号 長井市特別職に属する者の給与等の特例に関する条例の設定 | 原案可決 | 9  | 6  | ○     | ○     | ●     | ●     | ●     | ○     | ○    | ●     | ●     | ○     | ○      | ○    | ○     | ●     | ○    |       |

※ 賛否が分かれたものについてのみ掲載しています。議長（小関勝助）は採決に加わらない。  
○は賛成、●は反対

★平成25年5月臨時会及び6月定例会に提出されたすべての議案等の議決結果は市議会のホームページに掲載しています。



## —長井市政を問う—

# 市政一般に関する質問

6月11日から13日までの3日間の日程で、市政全般について11名の議員が質問しました。質問と答弁の要旨をお知らせします。

## 一般質問

### 都市再生整備事業の「検討委員会」について



江口 忠博 議員

弁 受けた提言を  
答 うまく組み込みたい

Q: 「検討委員会」が発足しましたが、委員会の話し合いの回数や、会議の持ち方なども柔軟な姿勢で臨むべきと考えますがいかがですか。

A: このたびの「検討委員会」には、「かわと道の駅」以外の変更部分について検討をお願いするものですが、「かわと道の駅」に関しては、場所以外の内容についてもご意見をいただきたいと思います。

Q: 「都市再生整備事業」の中で、基幹事業である「かわと道の駅」に対して、推進に

賛成の議員や、慎重にすべきという議員の考えを「検討委員会」の皆さんにお伝えできる場をぜひ設けていただきたと思いますがいかがですか。

A: 「検討委員会」の複数の方々からも、議会の皆さんの反対する理由やなぜ賛成なのかという考えなどを聞く、意見交換の場を設けてほしいとの考えも示されていますので、時期をみて複数回実施したいと思っています。

Q: 「かわと道の駅」の内容についても「検討委員会」からさまざまな提案があれば、それを受け入れると考えてもよいですか。

A: 議会や市民の皆さん、「検討委員会」の皆さんとの意見交換の中で、いただいた提言をうまく計画に組み込む努力をしていきます。



### 健診受診率向上のため特定健診の無料化を



今泉 春江 議員

弁 負担軽減も手法で  
答 あり、今後関係者と検討

Q: 長井市では、三大疾病死亡率（悪性新生物、心疾患、脳血管疾患）が全国と県平均より高く、さらに高血圧や糖尿病の疾病が県の平均より高いことが報告されていますが、この原因や改善のための対策はどう考えていますか。健診受診率向上のため、特定健診料金の千円を無料にすべきではないですか。そうすれば、がんなどの健診も受けやすくなり、市民の健康増進が図られます。「健康日本21ながい」の施策に、食生活改善推進員や運動普及推進員による健康

づくりが計画されていますが、これらの人員を増やし、会の活動を援助し、市民の健康づくりを進めるべきです。

A: 「健康日本21ながい」の指針に沿って対策を講じます。特定健診を無料にすると、国民健康保険特別会計の今年度予算の歳入が140万円減となりますが、受診者の負担軽減も受診率向上の大きな手法であり、今後関係者と検討します。食生活改善推進員の活動や運営に対する補助についても検討したいと思っています。また、活動を継続できるように会員の声も聞きながら、運営をサポートしたいと思っています。

Q: 白つつじの雪焼けの原因と対策について伺います。

A: 昨年も大雪で、さらに低温が加わりこのような現象が起きました。天候と害虫や病気などに左右され大変難しい樹木ですが、最大限の努力をして回復に努めます。



## 一般質問



赤間 恭広 議員

胃がん検診受診率  
向上の取り組みは

答 弁  
受診勧奨に努める

Q. 毎年12万人が胃がんを発症し5万人が亡くなっているという現状を踏まえ、本市における胃がん検診受診率はどうのような水準になっていますか。そして受診率アップにどのような取り組みを行っていますか。また、支援体制はどのようになっていますか。

A. 平成23年度の胃がん検診受診率は、山形県平均の28.2%に対して、長井市は20.7%となっています。

非申込者の方にも再度検診日程などの案内を送付し、受診勧奨に努めています。さら

に今年度、胃がん検診の自己負担金を千円と低くし、受診しやすい金額にしました。

Q. 最近、日本全国で風疹患者が増え大問題になっていきます。5月までに全国の風疹患者は、去年1年間の3倍を超え「過去最悪」のペースで感染が広がっています。

風疹に対する効果的な治療法はなくワクチンによる予防が最も重要とされています。今回の風疹の流行を受けて、

公的な補助金制度を準備した自治体（山形県では西川町）

も多くあります。長井市においても何らかの対応が必要と思われませんが、ご所見をお伺いします。

A. 風疹感染の対策について西川町では、早々にワクチン接種の補助を決めたようですが、長井市としての予防対策は、まず全国的な取り組みが必要と感じていますので、もう少し国、県の動向を見ながら対応した方がよいのではないかと考えています。



高橋 孝夫 議員

## 理解できない地場産業センターでの職員雇用

答 弁  
採用予定職員に  
辞退者が出て、  
急ぎよ判断したもの

Q. 一般会計補正予算に、※地場産業振興センター運営費補助金530万3千円の増額が提案されています。市からの職員派遣2名を1名とし、市の退職者2名を雇用して、法人改革に合わせ収益事業に力を入れ、その収益から公益事業を積極的に展開できる体制をつくるということです。

地場産業振興センターが公益財団法人から一般財団法人に移行したのであれば、発足以来20数年にわたって赤字を出し続けてきた法人をいかに縮小していくのかを探るのが

一般的な考えだと思いますが、提案内容は全く逆です。発足以来運営費補助という赤字補てんを市から受けてきた地場産業振興センターが新たな雇用を行い、その費用は市でと言われても理解できません。提案を撤回し、再考すべきだと思います。

A. このような人件費については補正予算ではなく本来であれば当初予算で措置すべきですが、3月下旬の人事の前に、4月1日採用予定職員に辞退者が出たことにより判断せざるを得なくなりました。

地場産業振興センターの職員については、市の職員の派遣を3名から2名にし、それを1名にしたということ、そのかわり市の職員OBを雇用して、市の行政内部でできないようなところを地場産業振興センターという一般法人とはいえ公共的な業務を担っている第三セクターでうまく調整をとって、効果を上げていただくよう考えたところで



町田 義昭 議員

生涯学習プラザに  
上水道の導入を

答 弁  
地下水から上水道への  
切り替えを検討

Q. 生涯学習プラザは、第47回へには南国体の卓球競技少年の部の会場として使用され、市を挙げて成功に導きました。プールも併設されていることから、大量の水が必要であり地下水を利用しています。あれから20年が経過しましたが、飲料水も地下水利用のままです。この秋一部完成予定の運動公園整備にあわせて、学習プラザの飲料水を上水道に切り替えてはどうですか。

A. 学習プラザで利用している地下水については、山形県理化学分析センターによる水

※この補正予算は、後日撤回されました。

質検査を年4回実施し、専用水道と同等の水質の衛生面、安全性を確保していますが、より安全性の高い飲料水を提供できるよう、一部上水道への切り替えを検討します。

**Q.** 学習プラザ体育館は、メンテナンスや備品の更新もままならない状態です。少しずつ利用者の要望に応じていく必要があると思います。もし飲料水を上水道に切り替えるなら、給水器の設置を考えてはいかがでしょうか。また、冬期間の体育館は底冷えし、運動するには危険な環境です。せめて簡易暖房の整備が必要ではないですか。

**A.** 給水器の設置についても、上水道への切り替えにあわせて検討します。また、冬期間における体育館の暖房については、ジェットヒーターで対応したいと考えており、今年1月に防災用備品として2台購入しました。体育館での使用を希望する場合は貸し出します。今後、有効に活用してください。



小関 秀一  
議員

## 公共施設投資は 長期財政計画策定で

**弁 答**  
長期財政計画の  
策定は難しい

**Q.** 厚生労働省の発表によれば、2040年の本市の人口は約1万9500人に減る予測です。人口動向など総合的に調査、検討した上で、本市の30年、40年先の長期財政計画策定が必要だと思います。特に公共施設の整備については課題が山積みであり、現在検討委員会が議論されていると思いますが、本市の全体的な将来像を判断するためにも、長期の財政計画が必要だと思います。今後の財政の方向性について伺います。

**A.** 30年、40年スパンの財政

計画策定は、経済情勢も含めてかなり難しいと思います。市の財政運営については、ある程度予測可能な範囲で必要な対策を講じ、不測の事態にも対応できる財政調整基金の確保などを考えていく必要があると思います。公共施設の整備については、分野ごとに総合的な判断をいただき、必要な施設の優先順位を議論していただきたいと思います。

**Q.** 2012年の農業白書によると、49歳以下の農業者、いわゆる担い手の割合は、全国でも3%ということです。人・農地プランは本市でも進めている大事な施策のひとつですが、農業の振興については、市独自の政策が必要と考えます。支援策など本市の農業政策について伺います。

**A.** 本市では、本年度から新規就農者の定住支援として「生き生き就農促進事業」を創設しました。また、行者菜の苗木代の補助、醸造用ブドウ栽培試験圃場の整備に対し支援を行っています。



我妻 昇  
議員

## 放課後等デイサービス 事業に支援を

**弁 答**  
施設を貸与する  
方向で進める

**Q.** 障がい児の福祉について、県は特別支援学校の再編整備計画に基づき、米沢養護学校小学部の分校を豊田小学校に設置する方針を示しましたが、グラウンドやプールなどの共有や時間配分などの点で保護者に不安があると思います。県の事業ではありますが、市としてどのような対応をしていますか。

**A.** 保護者の皆さんから直接お聞きしましたが、小中高一貫した教育を望む声や豊田小学校との併設に対する不安の声が多くありましたので、す

ぐ県に伝えたところです。また、長井市としてはあくまでも、小中高一貫での分校設置を県に強く要望してまいります。

**Q.** 米沢養護学校や小中学校に通う子ども達のための「放課後等デイサービス事業」が、米沢市や高畠町で進められています。白鷹町でも準備段階にあるようです。長井市にもそのような施設があればとてもありがたいという声を聞いておりますが、例えば旧清水保育園などの施設を提供し、NPO法人や福祉法人などが参入できる環境を整えるべきではないでしょうか。

**A.** 先日、保護者の皆さんから正式に要望書をいただきました。初めての事業でありまして、初めのうち、ノウハウを持った事業者が打診しているところですが、修繕などの課題はありますが、施設としては旧清水保育園の貸与を前提にして、早期実現に向け進めてまいります。

## 一般質問



大道寺 信  
議員

## 人口減少社会への対応は

弁 強い危機感と  
答 覚悟で望む

Q. 国立社会保障・人口問題研究所から発表された人口推計によると、長井市は2010年の2万9473人が2040年には1万9728人に減少すると推計されています。特に年齢別の推計では、生産年齢人口では2010年の1万6915人が2040年には9904人と大きく減少し、一方では65歳以上はほぼ横ばいとなり、高齢化率が高くなる中で持続可能な行政体をどのようににつくっていくのか、基本的な考えをお聞かせします。

幅が大きく、本格的な高齢化が進み、生産年齢人口は減少し、経済活力の低下、税収減、財政の逼迫、インフラの維持が困難、そして生活利便の低下という負のスパイラルに陥ってしまうとされています。これを断ち切るために、地域経済の再生と雇用の創出を最重要課題と捉え、その実現に向けて強い危機感と覚悟を持って臨み、長井市再生を図りたいと考えています。

Q. 東芝ライテックの工場閉鎖に伴い、市から要望していた東芝グループからの受注による雇用確保については、今後対応策を検討するとの話であり、積極的に働きかけをしていきたいとのことですが、会社側から具体的な回答と何らかの動きがあったのかお聞かせします。

A. 3月までは対応を検討していたものの、その際は回答できない旨の話がありました。4月に会社側が再度来市され、最終的に難しいとの回答が正式にありました。



竹田 博一  
議員

## 「ゆるキャラ」でまつりやイベントを盛り上げよう

弁 研究して手づくりで  
答 頑張りたい

Q. 「観光振興計画」では、中高年や子どもを主たるターゲットに捉えています。なぜ若者を外したのですか。そしてこれから10年間どう変わっていく計画ですか。

本市の各種のまつりは重要な観光事業であり、成功するかしないかで価値も大きく変わります。本市でも広く募集して独自の「ゆるキャラ」を作り、子ども達のアイドルに成長させ、まつりやイベントを盛り上げてはどうですか。

A. 全国的統計上から中高年と家族をターゲットに展開す

る必要があります。まつりやイベントも重要ですが、それ以外にも通年型観光によって訪れた人に「長井の物語」を理解してもらうことが重要と考えています。

「ゆるキャラ」については、本市でもそういったマスコットキャラクターが必要だと思いますが、素材がなかなか難しいと思います。ぜひ研究して手づくりで頑張っていこうと思っています。

Q. 学校の土曜授業について横浜市教育委員会の調査では、約7割の保護者が賛成したのに対し、教員の7割が実施に反対ということですか。長井市教育委員会として、実施校の成果と課題の把握、調査などが必要であると同時に、小中学校の保護者の意識調査が必要と思いますがどうですか。

A. 土曜授業について今後先進地の視察なども行い、その上で保護者の意見なども伺い、ぜひ前向きに検討していきたいと思っています。



蒲生 光男  
議員

## 老朽化した庁舎の新築問題について

弁 整備検討委員会を  
答 設置し検討

Q. 昭和33年に建設された市庁舎本庁舎は、耐震性が十分でなく、また、設備などの老朽化が著しいことから、建て替えなど根本的な対応が必要です。耐震診断の結果から、早急に新築などの結論を得るべきだと思います。

庁舎について、耐震診断テストが行われました。この結果は想定範囲内だったのか、指摘された個別の対策を全て実施するといくらの経費を要することになりますか。耐震診断の結果と、これから行われる第2庁舎の耐震診断の計



画について説明してください。

診断によると、構造耐震判定指標、ISO値は0・5と  
いうことです。この0・5とい  
うのはどの程度のレベルな  
のか、国交省の評価基準に従  
えば、危険性があるという評  
価ですが、一時も早く危険性  
の回避策を見出すべきです。

A・本庁舎は、電気系統、水  
回り、暖房設備、外壁などの  
老朽化が著しく、対症療法的  
に補修を行ってきました。耐  
震診断結果から、補強工事を行  
っても災害対策本部としての  
耐震性を確保することは難  
しく、新築整備を含めた庁内  
検討委員会を設置しました。

庁舎が分散していることや、  
お年寄りや障がい者の方に不  
便な構造であることなど、市  
民サービスの観点から、来年  
度以降に市民を含めた整備検  
討委員会を設置し検討したい  
と思います。耐震補強工事費  
用は1億5千万円を見込んで  
おり、第2庁舎も、科学的に  
耐震性に係る危険性を把握す  
る必要があると思っています。



梅津 善之 議員

## レインボープランの 今後の方針について

弁 答  
レインボープランは  
永続的に取り組む

Q・レインボープランの農産  
物が、今よりもっと市民の口  
に入る地域循環にしていくな  
きゃいけないと考える。地域全  
体で取り組む一体感を市民が  
感じることができれば、今以  
上に輪を広げることが可能と  
思います。

コンポストセンターが稼働  
し今年で17年目に入り、施設  
の老朽化が危惧されています。  
現在の施設を修理しながら維  
持していくのか、今後の方針  
を伺います。

A・コンポストセンターにつ  
いては、全てを新しくする必  
要はないと考えています。コ  
ンクリート部品以外の所で、  
腐食の激しい所を改修してい  
くことが現実的ではないかと  
考えていますが、なお、今後  
新たな施設整備も含め検討し  
ていきたいと思っています。

Q・現在のレインボープラン  
の堆肥をさらによいものにし  
ていくために、発酵資材のE  
M菌などを投入し、何年もか  
かる土づくりに発酵菌の力を  
借り、パワーアップした土と  
なるように役立ててはどうで  
すか。

また、これまでのレインボ  
ー野菜の生産の推移を教えて  
ください。

A・レインボープランは、地  
域循環ということから、土着  
菌による発酵が自然ではない  
かと考えていますが、レイン  
ボープラン推進協議会の皆さ  
んと協議し、どういった形が  
いいのか検討していきます。

レインボープラン認証農産  
物の栽培面積は、平成20年度  
の33haをピークに年々減少し  
ています。

## 産業・建設常任委員会の現地踏査から

去る6月19日、産業・建設  
常任委員会に付託になりました  
た、議案第51号「宅地開発事  
業用地の取得について（台  
町・花作町地内）」並びに請  
願第2号「市道上伊佐沢小屋  
敷線改良整備工事の施行」に  
ついて、現地踏査を行い関係  
者から説明を受けました。

営事業「下九野本地区経営体  
育成基盤整備事業（土地改  
良）」なども視察してしまし  
た。  
今後も現場をしっかりと確認  
して、関係者の意見を聞いて  
まいります。



## 文教常任委員会の奉仕作業

文教常任委員会では、毎年  
学校施設の除草作業ボランテ  
ィアを行なっています。

今年6月17日に、平野小  
学校グラウンド周辺を除草し  
ました。教育委員会事務局職  
員の協力も得て、「サッパリ」  
とした平野小学校になりました。





市庁舎のグリーンカーテン

## 予算特別委員会総括質疑

6月20日と21日の2日間の日程で予算特別委員会が開催されました。

質疑に立った6人の委員と当局との議論の要旨をお知らせします。

### 来庁者の熱中症予防に 給水器の設置を

**今泉春江委員** 昨年の猛暑時に、来庁者のために給水器の設置を提言しました。市長は今年度の当初予算で検討すると約束しましたが、いまだに設置されていません。熱中症の患者も出ています。いつ設置しますか。

**市長** 市民課が給水器12万円、紙コップなどの消耗品8万5千円の予算を要求しましたが、財政課長査定でゼロ査定となりました。その後、要求内容を精査し復活要求しましたが、庁舎の改修工事などが想定されるので、予算計上にいたりませんでした。

**委員** いつになるかわからない庁舎改修工事まで設置しないのですか。ただちに水飲み場の案内などで熱中症の注意を喚起するとともに、リースによる給水器の設置など、すみやかに対処してください。さらに職員の暑さ対策にも十分気をつけていただきたいと思います。

**市長** 今すぐは難しいですが、市民サービス向上の視点から引き続き前向きに検討します。



### まちづくりは 市民の民意が大事

**佐々木謙二委員** 堀切桐町線の石畳による道路整備は、地域の景観や歴史、文化などの特性を生かし、まちづくりへの効果を期待する施策と思いますが、多くの意見が出されました。当局は、意見を受けとめ市民や関係者の意見も聞いてみたいと言われましたが、整備内容に関し意見を聞いた経緯と配慮をお聞きます。

**まち・住まい整備課長** 関係者の皆さんとの意見交換を2回行い、全線の整備、側溝整備、街路灯の設置の要望を受けましたので、要望に応える予算を計上しています。

**委員** 石畳の整備には、維持管理の問題点も数多く出されました。その配慮も伺います。

**課長** 走行車線は脱色舗装、石張り構造の見直し、石畳は両側だけの計画にしています。

**委員** 他に計画している石畳の道路整備は、堀切桐町線をモデルにして、市民の意見を聞いて進めてはどうですか。

**市長** 3路線は白紙にし、検討委員会の意見を聞き、変更申請の段階で見直します。

### 農業補助金交付の あり方について

**江口忠博委員** 県の補助事業であっても、補助金交付の結果責任を最後は市が負わなければならぬことを考えれば、「長井市補助金等交付規則」に則った各事業計画の段階での精査が必要だと思いますがどうですか。また、補助金交付申請の広報が行き届いていないと思われませんが、営農形態に合わせた経営相談も含めた補助事業広報と交付申請受付も必要ではないですか。そし

て交付後の実態や効果の調査も実施すべきと考えますがいかがですか。

**市長** 最終的には市も責任を負うわけで、偏った形の補助金交付になっていなかったかということも含めて、改めて反省しています。ある地区のカントリーエレベーターの稼働率がJAおきたまで一番低いにも関わらず、新たな「任意団体」の施設への補助金を認めた件についても、反省すべき点があったと思います。今後すべての農家に門戸を開く説明のあり方を検討していきたいと思っています。





## 市政の将来構想を 見据えた土地利用を

**安部隆委員** 新産業団地構想は、雇用確保や市政の将来構想に及ぼす影響ははかり知れないと思います。現在の状況をお伺いします。

**商工振興課長** 新潟山形南部連絡道路の梨郷ルートが発表され、今泉地区の国道113号線との合流付近に団地を計画しており、具体的な場所、面積などは特定していません。このたびの予算で調査を行うものです。

**委員** 道路網の整備などが進み、地理的には良好な場所だと思っています。しかし、鉄塔が縦断しており、障害になりませんか。また、活断層があるといわれていますが、どのように考えていますか。

**市長** 活断層については、調査のうえ判断しなければなりません。直下は避けるべきだと思います。鉄塔については、東北電力に問い合わせたところ、地下埋設で技術的に問題ないと聞いています。国、県、

東北電力などの支援を受けないから、地下埋設も検討する必要があると思います。

## 都市計画道路 計画路線の見直しを

**高橋孝夫委員** 都市計画図に示されている都市計画道路計画路線の延長と建設済みの道路はどれくらいですか。

**まち・住まい整備課長** 昭和14年から都市計画道路決定がされ、15年には6路線が決定されています。現在は、13路線、2万2130mが指定され、内改良済みが9260mで整備率は41・8%です。

**委員** いつまでたっても計画路線のままで、取り組みが何にも進んでいない所には違和感を覚えます。計画はあっても建設がいつになるのかわからない所については実態に合った見直しが必要です。現に、長井市は中心軸が南に移っていると思います。都市計画審議会で時間をかけて見直し作業に着手することが現実的な課題と考えます。

**市長** 中心市街地活性化計画や本町から駅前通りの街路事業も県、国に承認いただき活性化を図ろうとしており、今後の審議会の在り方について検討し、都市計画の変更等々を進めていきたいと思っています。



石畳整備が予定されているあら町通り

## 道の駅予定地を 企業誘致の場に

**我妻昇委員** 道の駅予定地は民間の力で開発されるべき土地だと思います。市が買い上げることに反対ですが、ゴーストタウンになってしまうのではないかと不安の声がありますので、一つの考え方として提案します。福祉法人

や学校法人、一般法人など広い視野で企業誘致の場にしてはいかがでしょうか。

**市長** 我妻委員は一般質問で、この場所に会社を移転させたいと考えている社長さんがいると発言されましたが、それは架空の話ですか。

**委員** 昨年の秋に言われた話ですので、本人にその後の意志を確認して市にお伝えします。今泉や成田などと同様に、この場所も企業誘致の場として考えられないでしょうか。

**市長** 議会から認めていただけないならば道の駅を諦めざるを得ません。その場合は市が何もしなくても、民間の力で様々な活用がされるものと思います。



## 9月定例会の予定

- 8・20（火）総務常任委員会協議会
- 21（水）文教常任委員会協議会
- 22（木）厚生常任委員会協議会
- 23（金）産業・建設常任委員会協議会
- 27（火）告示
- 30（金）議会運営委員会
- 9・3（火）本会議（開会）
- 6（金）本会議（一般質問）
- 9（月）本会議（一般質問）
- 10（火）本会議（一般質問）
- 11（水）総務常任委員会
- 12（木）文教常任委員会
- 13（金）厚生常任委員会
- 17（火）産業・建設常任委員会
- 18（水）決算特別委員会
- 19（木）決算特別委員会
- 20（金）決算特別委員会
- 24（火）予算特別委員会
- 25（水）予算特別委員会
- 27（金）本会議（表決・閉会）

◎全ての会議が傍聴可能です。なお、正式な日程は、市議会のホームページなどでご確認ください。

## 文教常任委員会 視察研修報告

【佐賀県武雄市】 7月4日

武雄市図書館は、CD&DVDレンタルで有名な「TSUTAYA」を運営する企画会社CCC（カルチュア・コンビニエンス・クラブ）が指定管理者として管理運営をしています。その「新図書館構想」について詳しく視察させていただきました。

武雄市図書館は、平成12年10月に「武雄市図書館・歴史資料館」として開館したもので蔵書数18万8千冊の2階建ての比較的新しい建物です。平成18年度以降は、一貫して休館日を減らす取り組みを展開し、「365日・年中無休」とすることで「もっと多くの方に利用していただきたい」との考え方を実現するために「行政でできなければ民間の力で」と発想を変え、平成24年5月に武雄市とCCC株式会社が基本合意締結をし、11

カ月の準備期間を経て本年4月からリニューアルオープンしています。

「市民の生活をより豊かにする図書館」をめざし、企画会社CCCと実現する「新しい公共施設」を標榜し、提携することによって9つの市民価値が実現できるとしています。具体的には、①20万冊の知に出会える場所（開架10万冊から20万冊へ）、②雑誌販売の導入（ライフスタイルの提案）、③映画・音楽の充実、④文具販売の導入、⑤電子端末を活用した検索サービス、⑥カフェ・ダイニングの導入（スターバックスの出店）、⑦「代官山蔦谷書店」のノウハウを活用した品揃えやサービスの導入（自動貸出機、分類方法、空間など）、⑧Tカード、Tポイントの導入（同意選択制）、⑨365日、朝9時〜夜9時までの開館時間などです。

図書館に入ると、そこはどこにでもある書店の雰囲気、奥に行けば図書館という光景が広がり、一階には読書ス

ースが、二階には学習スペースがあり、パソコンの持ち込みはもちろん、飲み物などの持ち込みも可能です。

喫茶などのサービスをすることで家と同じ感覚で本を楽しむことができること、雑誌などはそこで見ることもでき、欲しければ購入することもできるといふシステムは、考え方を整理すれば長井市でも導入することは可能ではないかと感じてきたところです。

ぜひ、私たちも一緒に考え取り組みを進めたいと思います。



一つのフロアーに、図書館、書籍販売、売店がある

## 請願

### 採択

#### ●市道上伊佐沢小屋敷線改良整備工事の施行

当地域の道路は、幅員が非常に狭く、除雪作業中に重機の車輪が素掘に落ちるなど、特に冬期間や非常時の通行に苦慮しています。

私たちは、生活維持を図るために関係者一同で協議しました。用地についても全面的に協力提供いたします。

つきましては、安全な生活道路として改良整備工事を施行くださるよう請願いたします。

（請願者 長井市上伊佐沢上地区長 洪谷利弘）

#### ★【全国市議会議長会表彰】

★一般表彰（正副議長4年）

感謝状（評議員）

蒲生 光 男 議員

★一般表彰（議員10年以上）

我妻 昇 議員

## 編集後記

春以来の少雨や突然の集中豪雨、連日の猛暑など、自然に生かされる日々の暮らしは大変なものです。

だからこそ、「花の長井」を訪れていただいた方々に「また行きたい」と言われるように心穏やかで笑顔あふれる街の空気を、私たち市民が少しずつでも創りたいものです。

そうした市民生活をサポートする行政の監視機能を果たす議会活動の一端を、新体制6人の編集委員でお届けいたします。ぜひ、ご意見やご要望をお寄せください。

（S・K）

## ながい市議会だより 編集特別委員会



梅津 善之 赤間 泰広  
今泉 春江 ○我妻 昇 ○小関 秀一 江口 忠博  
（○委員長 ○副委員長）